

令和3年度広島県職員採用選考試験(情報・社会人)第1次試験における出題誤りについて

1 概要

令和3年10月17日(日)に実施した令和3年度広島県職員採用選考試験(情報・社会人)第1次試験の専門記述試験中、五肢択一式の問題文に誤りがあった。

2 試験の実施状況等

(1) 受験者数

13名(採用予定人員2名)

(2) 試験会場

広島会場：広島県JAビル(広島市中区大手町4-7-3)

東京会場：CrossTransit 航空会館(東京都港区新橋1-18-1)

(3) 試験項目

- 職務基礎力試験
- 職務適応性検査
- アピールシート
- 専門記述試験 ※うち1題で今回誤りが判明

3 経緯・原因

(1) 経緯

受験者から選択肢に正答がない旨の質問があり、検証の結果、問題文の数値に誤り※があったため、選択肢から正答が得られないことが判明した。

※問題文中『55万件』とすべき箇所を『35万件』と誤って記載した。

(2) 原因

作問については問題の流出等に万全を期すために、必要最小限の人数で作業した結果、チェック体制が不十分となり、作問者が問題文中の数字を誤って記載したが、その記載誤りに確認者が気付かなかった。

4 対応

- 当該問題については、受験者全員を正解とした。
- 受験者には、謝罪・連絡を行った。

5 再発防止

問題の流出等に対して万全の対策を取りつつ、以下のチェック体制の強化を行う。

(1) 問題作成

問題作成にあたって正副担当者を置き複数人で問題の正確性を確認する。

(2) 確認作業

問題作成完了後、複数の専門職員が解答を作成し、正答を突き合わせる。

(3) 最終確認

人事委員会の複数の職員が問題文と正答を確認し、必要に応じて修正依頼を行う。

(4) 試験問題の印刷

印刷物に落丁がないかなど、人事委員会の複数の職員が確認する。